様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	東北工業大学
設置者名	学校法人東北工業大学

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

<table>
<tr><th rowspan="2">学部名</th><th rowspan="2">学科名</th><th rowspan="2">夜間・通信制の場合</th><th colspan="4">実務経験のある教員等による授業科目の単位数</th><th rowspan="2">省令で定める基準単位数</th><th rowspan="2">配置困難</th></tr>
<tr><th>全学共通科目</th><th>学部等共通科目</th><th>専門科目</th><th>合計</th></tr>
<tr><td rowspan="6">工学部</td><td>電気電子工学科</td><td>夜・通信</td><td rowspan="12">9</td><td rowspan="4">3</td><td>18</td><td>30</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td>情報通信工学科</td><td>夜・通信</td><td>14</td><td>26</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td>都市マネジメント学科</td><td>夜・通信</td><td>12</td><td>24</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td>環境応用化学科※</td><td>夜・通信</td><td>31</td><td>44</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td>建築学科※</td><td>夜・通信</td><td rowspan="2">4</td><td>12</td><td>25</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td>環境エネルギー学科※</td><td>夜・通信</td><td>12</td><td>25</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td>建築学部</td><td>建築学科※</td><td>夜・通信</td><td>3</td><td>50</td><td>62</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">ライフデザイン学部</td><td>産業デザイン学科※</td><td>夜・通信</td><td rowspan="3">3</td><td>24</td><td>36</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td>生活デザイン学科※</td><td>夜・通信</td><td>22</td><td>34</td><td>13</td><td></td></tr>
<tr><td>経営コミュニケーション学科</td><td>夜・通信</td><td>14</td><td>26</td><td>13</td><td></td></tr>
</table>

（備考）
・工学部建築学科、環境エネルギー学科は、2020 年度から学生募集停止。
・工学部環境応用化学科、建築学部建築学科は、2020 年 4 月開設。
・ライフデザイン学部産業デザイン学科は 2020 年度よりクリエイティブデザイン学科から名称変更。
・ライフデザイン学部生活デザイン学科は 2020 年度より安全安心生活デザイン学科から名称変更。
・2020 年度より、新教育課程へ変更。

２.「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

◎　東北工業大学 web ページにて公開 ○（https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/） HOME ＞ 大学概要 ＞ 情報公開 ＞ 公表データ ＞ 教員組織ならびに各教員に関する情報 ＞ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧 ○工学部（https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/） HOME ＞ 学部・大学院 ＞ 工学部 ＞ 工学部シラバス ＞ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧 ○建築学部（https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/） HOME ＞ 学部・大学院 ＞ 工学部 ＞ 建築学部シラバス ＞ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧 ○ライフデザイン学部（https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/） HOME ＞ 学部・大学院 ＞ ライフデザイン学部シラバス ＞ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧 ※ 工学部、建築学部、ライフデザイン学部の各ページ下段に、シラバスとして学生便覧および教養教育科目、学科シラバスを掲載。

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由） ※該当なし

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	東北工業大学
設置者名	学校法人東北工業大学

１．理事（役員）名簿の公表方法

◎本学 Web サイトで公表
本学 Web サイト　＞　法人概要　＞　役員等　＞　学校法人東北工業大学役員等名簿
（https://www.tohtech.ac.jp/corporation/officer/document/officerlist2019.pdf）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役	2017.12.4 ～ 2021.12.3	第三者の視点での学校経営のチェック機能
非常勤	株式会社代表取締役社長		
非常勤	法律事務所所長		
非常勤	株式会社取締役監査等委員		
非常勤	株式会社取締役社長		
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東北工業大学
設置者名	学校法人東北工業大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 授業計画書（シラバス）作成については、ＦＤ研修会の一環として、2019 年度に授業を担当する全専任教員（非常勤講師として授業を担当し、かつ、シラバス作成を担当する専任職員を含む）にＬＭＳ上で研修資料を閲覧・ダウンロードし受講する方法を実施した。 具体的には、授業の達成目標の記載方法、アクティブ・ラーニングや地域志向科目に該当する場合の記載方法、成績評価の基準等について示したものである。 この研修会では、閲覧履歴、資料のダウンロード履歴を確認し、全該当教員が受講したことを確認した上で研修の終了とした。 また、記載項目、記載内容の適切性の確認のため、各学科の教務委員等により、当該学科のシラバスの第三者チェックを行っている（各回の授業計画内容および具体的な授業外学習（予習・復習）内容が明記されているか、成績評価方法の記載内容は適切か、など)。 作成･公表については、2018 年度ＦＤ委員会主催の研修会『シラバス作成方法について』を経て、毎年「シラバス作成上の留意点」を授業担当教員へ配布の上、シラバス作成の依頼を行い、作成後は本学ホームページ上で公表を行っている。	
授業計画書の公表方法	授業の方法及び内容等については学生に配布するとともに、ホームページ及び学内ポータルサイトにおいて掲示を行っている。 ○工学部 学生便覧 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/eng_gakuseibinran2020.pdf) 教養科目 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/eng_gene_syllabus2020.pdf) 電気電子工学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/elc_syllabus2020.pdf) 情報通信工学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/ice_syllabus2020.pdf) 建築学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2017/arch_syllabus2017.pdf) 都市マネジメント学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/civ_syllabus2020.pdf) 環境応用化学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/ace_syllabus2020.pdf)

授業計画書の公表方法	環境エネルギー学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2017/ace_syllabus2017.pdf) ○建築学部 学生便覧 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/document/2020/arc_gakuseibinran2020r.pdf) 教養科目 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/document/2020/arc_gene_syllabus2020.pdf) 建築学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/document/2020/arch_syllabus2020.pdf) ○ライフデザイン学部 学生便覧 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/life_gakuseibinran2020.pdf) 教養科目 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/life_gene_syllabus2020.pdf) 産業デザイン学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/id_syllabus2020.pdf) 安全安心生活デザイン学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/sl_syllabus2020.pdf) 経営コミュニケーション学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/mc_syllabus2020.pdf)

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

各授業科目の単位の認定は、当該授業科目を履修した学生に対し、原則として試験によってこれを行う。

各授業科目の試験成績は、100 点をもって最高とし、60 点以上を合格としているが、病気その他やむを得ない事由により定期試験を欠席した者に対し、追試験を行うことがある。また、厳格な成績評価を実施するため、「東北工業大学成績評価のガイドライン」を定め、ポータルサイトへの掲載により全教員・学生に周知し、運用している。具体的には、「同一科目＝同一内容の徹底」や「学科・センターにおける評価基準についての共通認識の形成」などを基本原則とした成績評価を実施すること、また、GPA を活用した学修指導の実施などを定め、これを徹底している。加えて、シラバスでは各授業科目で授業の達成目標と成績評価方法・基準を明記し（ホームページおよびポータルサイトへの掲載により、全教職員・学生が閲覧可能）、あらかじめ設定した評価基準を満たした履修学生に対して、単位を付与している。

また、学生が身につけるべき学士力を各授業科目で評価するとともに、その総合評価として「卒業研修（卒業制作）」の組織的・客観的評価により卒業認定を行っている。

東北工業大学学則（第 14 条～第 16 条の２）
(https://www.tohtech.ac.jp/outline/information/)

○工学部
教養科目
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/eng_gene_syllabus2020.pdf)
電気電子工学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/elc_syllabus2020.pdf)
情報通信工学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/ice_syllabus2020.pdf)
建築学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2017/arch_syllabus2017.pdf)
都市マネジメント学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/civ_syllabus2020.pdf)

環境エネルギー学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2017/ace_syllabus2017.pdf)
環境応用化学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/ace_syllabus2020.pdf)

○建築学部
教養科目
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/document/2020/arc_gene_syllabus2020.pdf)
建築学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/document/2020/arch_syllabus2020.pdf)

○ライフデザイン学部
教養科目
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/life_gene_syllabus2020.pdf)
産業デザイン学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/id_syllabus2020.pdf)
安全安心生活デザイン学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/sl_syllabus2020.pdf)
経営コミュニケーション学科
(https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/mc_syllabus2020.pdf)

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

GPA の算出方法および GPA による学修指導の基準を定め、公表している各学部の学生便覧に掲載している。

成績	Grade	Grade Point
90～100点	A	4.00
80～89点	B	3.00
70～79点	C	2.00
60～69点	D	1.00
不可・不適	F	0.00

$$\mathrm{GPA} = \frac{(4\times\text{Aの修得単位数}) + (3\times\text{Bの修得単位数}) + (2\times\text{Cの修得単位数}) + (1\times\text{Dの修得単位数})}{\text{履修登録科目の単位数（F（不可・不適）の科目の単位数を含む）の合計}}$$

小数第3位を四捨五入して第2位まで表示

GPA は以下の評価区分及び算出式で求められる。
上記で定められる算出式で各学生の GPA を算出し、成績通知とともに学生に通知するほか、学生カルテシステムの項目として提示し、学生は自らの GPA を常時確認できる。また、教職員も各学生の GPA を学生カルテシステムによって常時確認でき、学科内順位や教養・専門科目毎の平均値等と併せ、学修指導に利用している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	学生便覧に記載し学生に配布するとともに、ホームページ及び学内ポータルサイトにおいて掲示を行っている。 ○工学部 学生便覧（P.16） (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/eng_gakuseibinran2020.pdf) ○建築学部 学生便覧（P.152） (https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/document/2020/arc_gakuseibinran2020r.pdf) ○ライフデザイン学部 学生便覧（P.222） (https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/life_gakuseibinran2020.pdf)

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

卒業に要する最低修得単位数は124単位と定めており、本学の学生が身につけるべき学士力（1. 知識と理解力、2. 論理的思考と分析スキル、3. 協調性と適応力、4. コミュニケーションスキル、5. 課題発見とその解決能力、6. 国際理解力と語学力）を学科ごとに評価するとともに、その総合評価として「卒業研修（卒業制作）」の組織的・客観的評価により卒業認定を行う。

その手順として、教務委員会→代議員会→教授会の順に審議を行い認定する。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	下記により学位授与方針/卒業(graduation)ポリシーを公開している。 (https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html) ○工学部 電気電子工学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/elc/index.html) 情報通信工学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ice/index.html) 建築学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/old/eng/arch/index.html) 都市マネジメント学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/civ/index.html) 環境エネルギー学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/old/eng/eie/index.html) 環境応用化学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ace/index.html) ○建築学部 建築学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/arch/index.html) ○ライフデザイン学部 産業デザイン学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/id/index.html 生活デザイン学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/sl/index.html) 経営コミュニケーション学科 (https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/mc/index.html)

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	東北工業大学
設置者名	学校法人東北工業大学

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	2019(令和元)年度 貸借対照表 公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ ＞法人概要 ＞財務情報 ＞ 2019(令和元)年度計算書類 (https://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/document/2019/7_taishaku.pdf)
収支計算書又は損益計算書	2019(令和元)年度 事業活動収支計算書 公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ＞法人概要 ＞ 財務情報 ＞ 2019(令和元)年度計算書類 (https://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/document/2019/5_sikin.pdf)
財産目録	2019(令和元)年度 財産目録 公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ ＞法人概要 ＞ 財務情報 ＞ 2019(令和元)年度計算書類 (https://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/document/2019/8_zaimoku.pdf)
事業報告書	2019(令和元)年度 事業報告書 公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ ＞法人概要 ＞ 財務情報 ＞ 2019(令和元)年度計算書類 (https://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/document/2019/4_jigyohokoku.pdf)
監事による監査報告（書）	2019(令和元)年度 監査報告書 公表：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ ＞法人概要 ＞ 財務情報 ＞ 2019(令和元)年度計算書類 (https://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/document/2019/9_kansa.pdf)

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：令和２年度事業計画　対象年度：　2020　　）
公表方法：東北工業大学ホームページ 東北工業大学ホームページ ＞ 大学概要 ＞ 情報公開 ＞ 公表データ ＞ 財務情報 ＞ 事業計画 (https://www.tohtech.ac.jp/corporation/finance/document/2020/1_keikaku2020.pdf)
中長期計画（名称：TOHTECH 2023　　対象年度：2019～2023　）
公表方法：東北工業大学ホームページ ＞ (バナー)法人概要 ＞ 法人概要 ＞ 中期計画 「TOHTECH 2023」 (https://www.tohtech.ac.jp/corporation/ tohtech2023/)

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：東北工業大学ホームページ
東北工業大学ホームページ ＞ 大学概要 ＞ 情報公開 ＞ 自己点検評価
(https://www.tohtech.ac.jp/outline/evaluation/pdf/houkoku/h30kadai.pdf)
刊行物名：「平成 30 年度　東北工業大学の現状と課題　自己点検・評価報告書」

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：東北工業本学ホームページ及び日本高等教育評価機構ホームページ
東北工業大学ホームページ ＞ 大学概要 ＞ 情報公開 ＞ 大学認証評価
　本学 URL：(https://www.tohtech.ac.jp/outline/juaa_25/index.html)
　機構 URL：(http://www.jihee.or.jp/kikanbetsu/2013_03/15tohoku_kogyo.pdf)
刊行物名：「平成 25 年度　大学機関別認証評価　評価報告書」

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　　工学部、建築学部、ライフデザイン学部
教育研究上の目的（公表方法：東北工業大学ホームページ）
（概要） 東北工業大学ホームページ → 大学概要 → 情報公開 → 大学学則 （https://www.tohtech.ac.jp/outline/information/） 大学及び工学部、建築学部、ライフデザイン学部及び各学科の目的は以下のとおり。 大学の目的（学則第２条） 本学は、「創造から統合へ－仙台からの発進－」のスローガンのもと、学術を中心とした広い知識を授けると共に、人間・環境を重視した工学、及び豊かな人間生活を指向したライフデザイン学を教授研究し、人間性と調和した科学技術を展開させうる人材の育成を目的とする。 工学部の目的（学則第３条第２項第１号） 工学部は、人間・環境を重視した工学を創造し、社会との真の融合を目指すことにより、地域に根ざした文化と産業の発達に寄与することを目的とする。 建築学部の目的（学則第３条第３項第１号） 建築学部は、地域環境と人間社会を豊かにする建築学を創造し、建物をつくる知識や技術、建物を適切に計画するための知識や技術、建物を使いこなすための知識や技術の習得を目指すことにより、持続可能な社会と環境の構築に寄与することを目的とする。 ライフデザイン学部の目的（学則第４条第３項第１号） ライフデザイン学部は、豊かな人間生活を指向したライフデザイン学を創造し、社会との真の融合を目指すことにより、地域に根ざした文化と産業の発達に寄与することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：東北工業大学ホームページ）
（概要） （https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html） 卒業に要する最低修得単位数は 124 単位と定めており、本学の学生が身につけるべき学士力（1. 知識と理解力、2. 論理的思考と分析スキル、3. 協調性と適応力、4. コミュニケーションスキル、5. 課題発見とその解決能力、6. 国際理解力と語学力）を学科目ごとに評価するとともに、その総合評価として「卒業研修（卒業制作）」の組織的・客観的評価により卒業認定を行う。 その手順として、教務委員会→代議員会→教授会の順に審議を行い認定する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：東北工業大学ホームページ）
（概要） 建学の精神および基本理念に基づき、「専門家として必要な素地、調和の取れた人格、優れた想像力と実行力を備えた人材の育成」を教育方針に定め、伝統と文化を有する東北の中心地の特徴を重視し、その特性を生かし、かつそれを普遍化した学問を教育・研究することにより、社会が真に必要とする優れた人材を育成することとしている。 また、学生が身につけるべき学士力として、以下の６つの能力・スキルを定めている。 １）知識と理解力　２）論理的思考と分析スキル ３）協調性と適応力　４）コミュニケーションスキル ５）課題発見とその解決能力　６）国際理解力と語学力 これらの学士力を身につけさせるため教育課程表の編成・実施の方針として、 ① 目標ＧＰＡの設定 ② 各学科目と身につけるべき能力の対応関係の明示 ③ 社会的視点や人間形成に資する内容を盛り込んだ専門と教養の統合 ④ 初年次からのセミナー系科目と卒業研修科目までの少人数教育の一貫性 ⑤ 科目間の連携を明示したモデルカリキュラム としている。 東北工業大学ホームページ　＞　大学概要　＞ 建学の精神・教育理念 （https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html） ○工学部各学科のカリキュラム編成・実施の方針 電気電子工学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/elc/index.html） 電気電子工学分野のハードウェアとソフトウェアの専門性を備えた人材育成を目標に、教育・研究指導を行う。 １．個の尊重と実践教育を方針として、基礎科目では習熟度別学習に取組み、また演習・実験・卒業研修等の能動的学びにより専門知識と技術を実学として教育する。 ２．1、2 年次では、一般（基礎）、電気電子工学（基礎）、情報（基礎）から構成される専門基礎科目を設定する。 ３．3、4 年次では、一般（応用）、電子機械・ロボット、医工学・バイオ、光・情報デバイスの分野に関する電気電子工学（応用）、情報（応用）から構成される専門応用科目を設定する。 ４．卒業研修により、課題発見・解決能力とプレゼンテーション能力を修得するように指導する。 情報通信工学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ice/index.html） 情報処理技術者、通信技術者を育成するため、情報処理技術と通信技術、これらを融合した技術を体系的に学べるようカリキュラムを編成する。1 年次では情報処理技術と通信技術の両方の基礎となる科目を配置し、専門を学ぶ力を付けさせる。2 年次から 3 年次では、情報処理技術と通信技術、および両者の融合分野の専門科目を配置し、高度な専門知識・技術を学べるようにする。さらに、4 年次では卒業研修科目を配置し、勉学の集大成としての卒業研究を通して技術者として必要な能力を身に付けさせる。また、通信コースと情報コースのモデルカリキュラムを提供し、深く専門を学べるよう配慮する。 建築学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/old/eng/arch/index.html） 建築技術者に必要とされる基礎的な知識と技能（建築士受験指定科目）は必修科目として確実に修得する。エンジニアリング系科目では主に理論的思考力や問題発見/解決・判断能力などを、デザイン系科目ではコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、企画力などを養う。1 年次では建築学に対する理解を深め関心を高める導入教育、1～2 年次では建築学主要領域の基礎教育、3～4 年次では各領域・分野の知識と技術を統合する教育を行う。講義、演習、実験、課外活動などを有機的に連携させ、「知識・技能」を「経験・体験」に置換することで各分野の統合と協働のもとに成り立つ建築学の姿と、社会の中での建築を意識できるようにする。

都市マネジメント学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/civ/index.html）

学習･教育到達目標Ａ(良識と倫理観)、Ｂ(科学的知識)、Ｃ(自己啓発)、Ｄ(相互理解と協力)、Ｅ(専門的知識)、Ｆ(語学力と国際性）を学生が達成できるよう、授業科目を配置している。

シラバスでは、各科目のカリキュラム中での位置づけを、学習内容の関連性の流れを主眼とした「履修の流れ」として図示している。

さらに、シラバスには、各科目の授業内容･方法（授業の概要、授業計画など）、到達目標（達成目標）、成績の評価方法･評価基準はもちろんのこと、学習・教育到達目標と学習･教育到達目標（A）～（F）との関係の強さを「%」表示で示している。

環境エネルギー学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/old/eng/eie/index.html）

エネルギー工学と環境保全学の専門教育と一般教育及び環境情報に基づくコンピュータ教育との調和がなされ、それら知識を備えたエネルギー技術者・環境保全技術者の育成を目標に教育・研究指導を行う。

１年次に取り組む一般科目では専門の基礎知識としての工学・環境基礎、情報の科目を設定する。

２年次から３年次ではエコロジー、エネルギーの各コースに於いて専門科目として工学・環境基礎、情報、エコロジー、エネルギーの科目を設定する。また演習科目や両コース融合の科目を設定し、講義・演習を通し両者を有機的に結合した高い専門性を持った知識と技術を習得するようにする。

３、４年次に取り組む卒業研修では、持続可能な社会を支える知識と問題発見能力・解決能力・コミュニケーション能力を持った人材を育成する。

環境応用化学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ace/index.html）

応用化学と環境学の体系的な専門教育と技術者倫理など一般教養教育を基礎として、応用化学および環境保全技術者の育成を目標に教育・研究指導を行う。

１年次に取り組む一般科目では専門の基礎知識としての工学・環境基礎、リテラシーの科目を設定する。

２年次から３年次では、応用化学分野では化学の基礎から開発・製造技術、環境学分野では環境分析・調査技術などの専門科目を設定する。

また演習および実験科目を設定し、講義と有機的に結合した高い専門性を持った知識と技術を習得するようにする。

３、４年次に取り組む卒業研修では、持続可能な社会を支える知識と問題発見能力・解決能力・コミュニケーション能力を持った人材を育成する。

○建築学部建築学科のカリキュラム編成・実施の方針

建築学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/arch/index.html）

建築技術者に必要とされる基礎的な知識と技能（建築士受験指定科目）は必修科目として確実に修得する。

エンジニアリング系科目では主に理論的思考力や問題発見/解決・判断能力などを、デザイン系科目ではコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、企画力などを養う。１年次では建築学に対する理解を深め関心を高める導入教育、１～２年次では建築学主要領域の基礎教育、３～４年次では各領域・分野の知識と技術を統合する教育を行う。講義、演習、実験、課外活動などを有機的に連携させ、「知識・技能」を「経験・体験」に置換することで各分野の統合と協働のもとに成り立つ建築学の姿と、社会の中での建築を意識できるようにする。

○ライフデザイン学部各学科のカリキュラム編成・実施の方針

産業デザイン学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/id/index.html）

学位授与の方針に対応した以下①～④で構成する。

〈1 年次～2 年次前期〉

① 理論・思想を学ぶ。

・現代社会におけるデザインの意義・役割

・これからのデザインの課題を考える視点
・デザインに関連する幅広い分野の知識

② 手法・技術を学ぶ。
・アイデアを発想するシステマティックな手法
・的確に他者へ伝えるアナログ・デジタル技術
・より高度なデザイン技術

〈2 年次後期～4 年次〉

③ 応用・統合を学ぶ。
・一連のデザインプロセス
・論理的なプレゼンテーション
・グループワーク

④ 社会・コミュニケーションを学ぶ。
・実際の企業・組織活動とデザインの役割
・組織活動で貢献できるコミュニケーション能力
・自分の進路の検討、そこで必要な考え方、スキル

生活デザイン学科（http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/sl/index.html）

自立的コミュニティと地域産業形成をめざす「くらし系」、ならびに地域・都市における住環境の改善や空間創出をめざす「住まい系」を特色ある科目群として配置している。それら 2 つの系の共通領域として地域および福祉住環境に関する基礎的内容からなる「地域・福祉系」の科目群を配置する。

1 年次から 2 年次前期までは、この 3 科目群の基礎を学修し、2 年次後期からは、特色ある 2 系のいずれかに軸足を置き、専門的な学修を行うものとする。すなわち、地域のくらしと住まいにおける「しくみ」と「かたち」について、探求・デザイン実践しながら学修できるようにカリキュラムを編成している。

付記：建築士などのライセンス取得に必要な設計・造形系科目群と、キャリア形成科目群を、上記科目群との関連性を保持するように並列配置している。

経営コミュニケーション学科（http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/mc/index.html）

経営学（経済学・会計学などの周辺領域を含む）、コミュニケーション学（ヒューマンコミュニケーション・メディアコミュニケーション・ビジネスコミュニケーション）およびその両者をつなぐスキルとしての情報通信技術（ICT）を並行して学習する。低学年においては、多くの入門科目を配置し、幅広い学問分野を概観できるようにする。中・高学年においては、各学問分野のコアをカバーした専門科目を学習し、人間・組織・社会に関する課題を多方面から分析する力を養う。集大成として卒業研修を行う。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：東北工業大学ホームページ）

（概要）

東北工業大学ホームページ　＞　大学概要　＞　建学の精神・教育理念
（http://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/）

本学の人材育成の目標達成のため、入学後の成長が期待される人材として、以下のいずれかを評価して入学者を受け入れることとしている。

①基礎学力を身につけ、総合的な判断力を有すること
②専門分野に秀でた能力を有すること
③意欲的で目的意識が明確なこと
④多様な活動実績や一芸に秀でた能力を有すること

〇工学部各学科の入学者の受入れに関する方針

電気電子工学科(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/elc/index.html)

本学で定める入学条件に加え、以下の条件を満たす人の入学を強く希望する。

１．電気電子工学に興味を持ち、この分野に関して自ら学び・自ら考え、さらに新しいことに自ら挑もうとする強い意志のある人
２．今日の高度情報化社会における電気電子、医療、電力、自動車産業の分野で活躍し、自らの専門知識と技術で社会の役に立ちたいと考えている積極性のある人

情報通信工学科(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ice/index.html)

高度情報化社会を支えている情報通信分野に関心を抱き、将来この分野で活躍したいとの意欲と目的を持ち、基礎学力を身に付け総合的な判断力を有する者、あるいは情報通信分野に秀でた能力を有する者、多様な活動実績等を有する者を求めている。

建築学科(https://www.tohtech.ac.jp/dept/old/eng/arch/index.html)

本学科の教育理念を理解した上で、私たちの身近にある暮らしや地域/国際社会における事象に強い関心や興味を抱き、より豊かな暮らしと未来のための生活・地域環境づくりに創造的に、そして真摯に取り組む姿勢と、目標や夢、そして高い倫理観を持つ人を求める。将来、本学科で修得した知識と技能を活かして地域・社会で活躍する建築技術者/設計者を目指して努力しようとする学生を入学試験により選抜する。

都市マネジメント学科(https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/civ/index.html)

社会基盤の計画と建設および維持管理に関心を持ち、土木分野におけるリーダーまたはプロフェッショナルとして、地域の歴史や風土を生かした未来をデザインし、心豊かに暮らせる個性的で良質な地域社会を創り出そうとする、その意欲と能力のある人を求める。

環境エネルギー学科(https://www.tohtech.ac.jp/dept/old/eng/eie/index.html)

再生可能エネルギー工学や環境保全工学及び持続可能な社会を実現して行くための教育や社会制度に関心を持ち、基礎学力をしっかりと身につけ、将来、持続可能な社会を実現していくための工学に根ざした自分の専門分野をしっかりと築き上げる意欲を持つ人を求めている。

環境応用化学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ace/index.html)

材料・素材開発などの応用化学やそれを工業化するための化学工学技術、化学物質による人体・生態系への影響評価と公害防止などの環境保全技術に関心を持ち、基礎学力と高い倫理観を身につけ、持続可能な社会を実現していくための工学に根ざした専門能力を築き上げる意欲を持つ人を求めている。

○建築学部建築学科の入学者の受入れに関する方針
建築学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/arch/index.html）
本学科の教育思念を理解した上で、私たちの身近にある暮らしや地域/国際社会における事象に強い関心や興味を抱き、より豊かな暮らしと未来のための生活・地域環境づくりに創造的に、そして真摯に取り組む姿勢と、目標や夢、そして高い倫理観を持つ人を求める。
将来、本学科で修得した知識と技能を活かして地域・社会で活躍する 建築技術者/設計者を目指して努力しようとする人を入学試験により選抜する。

○ライフデザイン学部各学科の入学者の受入れに関する方針
産業デザイン学科（https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/id/index.html）
将来、デザイナーや各種クリエイターとして活躍したい、あるいはデザインの学びを様々な仕事に活かしたいと考えている積極的な意欲のある学生を求める。

生活デザイン学科（http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/sl/index.html）
本学科の教育理念を理解した上で、以下の事柄に関して強い関心と意欲のある学生の入学を強く希望する。
１．住まいと地域における心身の健康と安全安心に関心を持つこと。
２．健康で快適そして安全安心な生活環境を、総合的にデザインできるようになりたいという意欲を持っていること。
３．積極的に他人と関わりあいながら、自分を高め成長する意欲があること。

経営コミュニケーション学科（http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/mc/index.html）
経営学（経済学・会計学などの周辺領域を含む）、コミュニケーション学（ヒューマンコミュニケーション・メディアコミュニケーション・ビジネスコミュニケーション）およびその両者をつなぐ技術としての情報通信技術（ICT）を、横断的に学ぶ意欲を持っていること。社会を豊かにし、人の役に立ちたいと願う公共的精神を持っていること。基礎的な学力があり、大学レベルの学問を理解することができること。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：東北工業大学ホームページ　＞　大学概要　＞　組織図
（https://www.tohtech.ac.jp/outline/organization/index.html）

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	3 人	－					3 人
工学部	－	29 人	22 人	1 人	2 人	0 人	54 人
建築学部	－	7 人	6 人	3 人	2 人	0 人	18 人
ライフデザイン学部	－	16 人	11 人	3 人	1 人	0 人	31 人
教養部（一般教育）	－	4 人	7 人	1 人	0 人	0 人	12 人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	149 人	149 人

各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：本学 Web サイトの各学科の研究室・教員照会で公表している。 本学 Web サイト ＞ 学部・大学院 ＞ 学部 ＞ 学科＞研究室・教員紹介 （https://www.tohtech.ac.jp/dept/index.html）

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

教職員における FD 推進の図るため、令和元年度は下記の研修会を実施した。

【令和元年度　第１回 FD 研修会】
開催日：令和元年４月１日（月）
テーマ：新任教員研修会

【令和元年度　第１回 FSD 研修会】
開催日：令和元年７月 12 日（金）
テーマ：『成績評価のガイドラインについて』

【令和元年度　第２回 FSD 研修会】
開催日：令和元年９月 13 日（金）
テーマ：『PROG テスト体験実施並びに解説会』

【令和元年度　第３回 FSD 研修会】
開催日：令和元年 10 月 31 日（木）
テーマ：『東北工業大学の安全保障輸出管理』

【令和元年度　第４回 FSD 研修会】
開催日：令和２年２月 28 日（金）
テーマ：シンポジウム『人工知能社会における できるビジネスパーソンの役割』
～10 年先の社会を見据えて～

【令和元年度　第５回 FSD 研修会】
開催日：令和２年３月 25 日（水）
テーマ：『教育の質保証シンポジウム』

公表：東北工業大学ホームページ　＞　大学概要　＞　FD 活動情報
（https://www.tohtech.ac.jp/outline/fd/document/2020/FDkensyukai_R1.pdf）

※FD 研修会：教育職員対象研修会、FSD 研修会：教育職員および事務職員対象研修会

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	385 人	464 人	120.5%	1945 人	2216 人	113.9%	若干名	0 人
建築学部	135 人	161 人	119.3%	135 人	161 人	119.3%		
ライフデザイン学部	240 人	279 人	116.3%	960 人	1124 人	117.0%	若干名	1 人
合計	760 人	904 人	118.9%	3040 人	3501 人	115.2%	若干名	1 人

（備考）建築学部は 2020 年４月開設

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
工学部	466 人 （100%）	21 人 （ 4.5%）	431 人 （ 92.5%）	14 人 （ 3.0%）
ライフデザイン学部	195 人 （100%）	3 人 （ 1.5%）	179 人 （ 91.8%）	13 人 （ 6.7%）
合計	661 人 （100%）	24 人 （ 3.6%）	610 人 （ 92.3%）	27 人 （ 4.1%）
（主な進学先・就職先）（任意記載事項） 進学先：東北工業大学大学院、東北大学大学院 就職先：株式会社ユアテック、株式会社ミライト				
（備考）				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
工学部	558 人 （100%）	441 人 （ 79.0%）	52 人 （ 9.3%）	65 人 （ 11.7%）	0 人 （ %）
ライフデザイン学部	218 人 （100%）	188 人 （ 86.2%）	13 人 （ 6.0%）	17 人 （ 7.8%）	0 人 （ %）
合計	776 人 （100%）	629 人 （ 81.1%）	65 人 （ 8.4%）	82 人 （ 10.5%）	0 人 （ %）
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

授業計画書（シラバス）作成については、ＦＤ研修会の一環として、2019年度に授業を担当する全専任教員（非常勤講師として授業を担当し、かつ、シラバス作成を担当する専任職員を含む）にＬＭＳ上で研修資料を閲覧・ダウンロードし受講する方法を実施した。

この研修会では、閲覧履歴、資料のダウンロード履歴を確認し、全該当教員が受講したことを確認した上で研修の終了とした。

また、記載項目、記載内容の適切性の確認のため、担当教員以外の第三者によるチェックを行っている。

なお、授業の方法及び内容等については学生に配布するとともに、ホームページ及び学内ポータルサイトにおいて掲示を行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

各授業科目の単位の認定は、当該授業科目を履修した学生に対し、原則として試験によってこれを行う。

各授業科目の試験成績は、100 点をもって最高とし、60 点以上を合格としているが、病気その他やむを得ない事由により定期試験を欠席した者に対し、追試験を行うことがある。また、厳格な成績評価を実施するため、「東北工業大学成績評価のガイドライン」を定め、ポータルサイトへの掲載により全教員・学生に周知し、運用している。具体的には、「同一科目＝同一内容の徹底」や「学科・センターにおける評価基準についての共通認識の形成」などを基本原則とした成績評価を実施すること、また、GPA を活用した学修指導の実施などを定め、これを徹底している。加えて、シラバスでは各授業科目で授業の達成目標と成績評価方法・基準を明記し（ホームページおよびポータルサイトへの掲載により、全教職員・学生が閲覧可能）、あらかじめ設定した評価基準を満たした履修学生に対して、単位を付与している。

また、学生が身につけるべき学士力を各授業科目で評価するとともに、その総合評価として「卒業研修（卒業制作）」の組織的・客観的評価により卒業認定を行っている。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
工学部	電気電子工学科	１２４単位	有・無	２４単位
	情報通信工学科	１２４単位	有・無	２４単位
	建築学科	１２４単位	有・無	２４単位
	都市マネジメント学科	１２４単位	有・無	２４単位
	環境エネルギー学科	１２４単位	有・無	２４単位
	環境応用化学科	１２４単位	有・無	２４単位
建築学部	建築学科	１２４単位	有・無	２４単位
ライフデザイン学部	産業デザイン学科	１２４単位	有・無	２４単位
	生活デザイン学科	１２４単位	有・無	２４単位
	経営コミュニケーション学科	１２４単位	有・無	２４単位

ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）	公表方法：東北工業大学ホームページ ○工学部 学生便覧（P.16） （https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/document/2020/eng_gakuseibinran2020.pdf） ○建築学部 学生便覧（P.152） （https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/document/2020/arc_gakuseibinran2020r.pdf） ○ライフデザイン学部 学生便覧（P.222） （https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/document/2020/life_gakuseibinran2020.pdf）
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）	公表方法：東北工業大学ホームページ 大学概要 ＞ FD 活動情報 ＞ 授業評価アンケート （http://www.tohtech.ac.jp/outline/fd/）

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：東北工業大学ホームページ

①本学 HP　＞　大学概要　＞　キャンパスマップ
(http://www.tohtech.ac.jp/outline/campusmap/index.html)
②本学 HP　＞　キャンパスライフ　＞　キャンパス紹介
(http://www.tohtech.ac.jp/campus/introduction/)
③本学 HP　＞　大学案内デジタルパンフレット
(https://www.tohtech.ac.jp/admission/pamphlet/)
④本学 HP　＞　資料請求　＞　テレメールで資料請求（2021 大学案内）
(https://www.tohtech.ac.jp/admission/request/)
⑤　その他の資料請求方法
電話フリーダイヤルにて大学案内を請求（TEL ： 0120-611-512）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
工学部	電気電子工学科 情報通信工学科 建築学科※ 都市マネジメント学科 環境エネルギー学科※ 環境応用化学科	980,000 円	250,000 円	320,000 円（1 年次） 330,000 円（2 年次） 340,000 円（3 年次） 350,000 円（4 年次）	その他（設備負担金・学生緒費分担金）
建築学部	建築学科	980,000 円	250,000 円	320,000 円（1 年次） 330,000 円（2 年次） 340,000 円（3 年次） 350,000 円（4 年次）	その他（設備負担金・学生緒費分担金）
ライフデザイン学部	産業デザイン学科	980,000 円	250,000 円	320,000 円（1 年次） 330,000 円（2 年次） 340,000 円（3 年次） 350,000 円（4 年次）	その他（設備負担金・学生緒費分担金）
	生活デザイン学科	740,000 円	250,000 円	290,000 円（1 年次） 300,000 円（2 年次） 310,000 円（3 年次） 320,000 円（4 年次）	
	経営 コミュニケーション学科	680,000 円	250,000 円	220,000 円（1 年次） 230,000 円（2 年次） 240,000 円（3 年次） 250,000 円（4 年次）	

※2020 年度より学生募集停止

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 基礎学力の学修支援を目的とした「学修支援センター」において、入学後すぐに大学の授業になじめるよう入学前教育、ひとり一人の習熟度を把握し効果的で質の高い教育に繋げるために入学直後の学力診断テストおよび大学における授業への不安を抱えている学生の補習教育の一環として、正課外の基礎学力支援講座等の学修支援を実施している。 実験･実習･演習･制作等の技術支援を目的とした「技術支援センター」において、電気電子･情報通信･物理系、設計･製図系、材料･構造系、土質系、測量等野外調査系、水質･水理系、水理系、造形系、表現技法系他の実験･自習等の技術系の学びが円滑に行われるよう、学内の実験･研究･附属施設等で技術支援を実施している。 留年･休学･退学者の削減を図ることを目的とした「教学アドバイザー制度」、教学アドバイザーによる多様な問題を抱える学生に対する個別指導を実施している。
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） １．就職ガイダンス（1～３年生対象） １～２年生は、自分の能力・適性に応じた進路選択を考えることを促す。 ３年生は、就職動向の情報共有、具体的な就職活動の方法について指導を行う。 ２．就活支援講座（３年生対象） ３年生を対象とし、就職活動の心構えから自己分析や業界職種研究などを行う。 ３．適性検査（１～４年生対象） 社会で求められている能力（ジェネリックスキル）を、知識を活用して課題を解決する力“リテラシー”と、経験を積むことで身につく行動特性“コンピテンシー”の二側面から測定。学修や学生生活に通じた目標設定や、就職活動に向けた自己分析を行う。 ４．業界・企業研究セミナー・OB/OG 講演会（１～３年生対象） 企業の人事担当者や各分野で活躍している卒業生から最新の動向やアドバイスを聞き、就職活動に役立てる。 ５．個別指導（全学生対象） キャリアアドバイザーによる「就職活動なんでも相談」や学科就職担当教員による就職相談に加え「進路指導員制度」を導入し、学生一人ひとりに応じた細かい指導を行っている。 ６．インターンシップ（１～３年生対象） 企業での就業体験を通して自己の職業適性や職業選択について考える。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 学生が『心身ともに健康な生活』を送れるように、ウェルネスセンターでは以下のような取り組みを行っている。 １．全学生対象に年１回の健康診断 ２．校医や保健師等による健康相談の実施 ３．学内での急病や不慮の事故による応急処置 ４．専任の専門カウンセラーによる学生生活に関わる心理相談や生活相談（障がい学生支援を含む） ５．保護者からの相談 ６．ピアサポーター （学生同士の相互扶助を目的とした学生の集まりで、カウンセラーから心理学や傾聴術などを学びながら、大学生活のカギとなる「居場所作り」のためにさまざまな活動を行っている。）の養成 ７．援助を必要とする学生のための教職員との連携 ８．メンタルヘルス等の啓発活動の実施

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：東北工業大学ホームページ

１.大学の教育研究上の目的に関すること（大学、学部、各学科）

学則第２条、第３条
https://www.tohtech.ac.jp/outline/information/

２.教育研究上の基本組織に関すること
http://www.tohtech.ac.jp/outline/organization/index.html

３.教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

教員組織、教員の数
http://www.tohtech.ac.jp/outline/number/index.html#teachers
各教員が有する学位及び業績
https://www.fdcommit-tohtech.jp/kyoindb/List/

４.入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

入学者に関する受入方針
大学
https://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html
工学部、建築学部、ライフデザイン学部の各学科
http://www.tohtech.ac.jp/admission/policy/index.html
入学者の数
http://www.tohtech.ac.jp/outline/number/index.html#student
収容定員
http://www.tohtech.ac.jp/outline/number/index.html#syuyou
在学する学生の数
http://www.tohtech.ac.jp/outline/number/index.html#student
卒業又は修了した者の数
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/career/index.html
進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/career/index.html

５.授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

学部授業科目、授業の方法及び内容（ページ下段　　学生便覧、シラバス）
工学部　http://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/index.html
建築学部　https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/index.html
ライフデザイン学部　http://www.tohtech.ac.jp/dept/life/index.html
年間の授業計画（全学部共通）
https://www.tohtech.ac.jp/campus/calendar/document/gakunenreki2020.pdf

６.学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

学則第 14 条、17 条
https://www.tohtech.ac.jp/outline/information/
学位授与方針
http://www.tohtech.ac.jp/outline/philosophy/index.html

工学部　電気電子工学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/elc/index.html
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_R2/index.html

情報通信工学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ice/index.html
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_R2/index.html
建築学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/old/eng/arch/index.html
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_29_R1/index.html
都市マネジメント学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/civ/index.html
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_R2/index.html
環境エネルギー学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/old/eng/eie/index.html
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_29_R1/index.html
環境環境応用化学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/eng/ace/index.html
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_R2/index.html

建築学部　建築学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/arc/arch/
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_R2/index.html

ライフデザイン学部　産業デザイン学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/id/
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_R2/index.html
生活デザイン学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/sl/index.html
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_R2/index.html
経営コミュニケーション学科（学位授与方針、進級・卒業条件）
https://www.tohtech.ac.jp/dept/life/mc/index.html
https://www.tohtech.ac.jp/outline/disclosure/condition_R2/index.html

７.校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

キャンパスマップ
http://www.tohtech.ac.jp/outline/campusmap/index.html
八木山キャンパス
http://www.tohtech.ac.jp/campus/yagiyama/index.html
長町キャンパス
http://www.tohtech.ac.jp/campus/nagamachi/
附属施設
http://www.tohtech.ac.jp/outline/institution/index.html

８.授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

http://www.tohtech.ac.jp/admission/outline/tuition/index.html

９.大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

学修支援

https://www.tohtech.ac.jp/dept/learning_support/index.html

※ STAC システムの活用

学生に関する情報(成績、取得単位、授業出席状況、課外活動、学生生活、就職活動など)をデータベース化し、教職員が学生一人ひとりの状況に応じて適切な指導方法を模索できるツール。教職員が情報共有し、連携した指導が行える。

経済支援

https://www.tohtech.ac.jp/admission/financial_support/index.html

就職支援

http://www.tohtech.ac.jp/career/index.html

心身の健康等に係る支援

http://www.tohtech.ac.jp/campus/wellness/index.html